

同志社大の取り組み  
西岡副学長が紹介  
山形、校友会県支部講演会

同志社大(京都市)のOB・OGで組織する同志社校友会県支部(九里広志支部長)の講演会が2日、山形市の山形グランドホテルで開かれ、西岡徹副学長が創立150周年を迎える2025年に向けた同大の取り組みを紹介した。

西岡副学長は大学がある



創立150周年に向けた取り組みを紹介した同志社大の西岡徹副学長(山形市・山形グランドホテル)

べき姿をまとめた「同志社大学ビジョン2025」の六つのテーマを説明した。このうち「学びのかたちの新展開」では習熟度別の新しい英語教育プログラムや「クリエイティブ・ジャパ

ン科目」の設定に触れ、「学生には地域の文化や歴史を産業振興、新産業創出、街づくりはどう生かすのかを学び、地域に帰って生かしてもらおう」と語った。

国内、国外の学生が一緒に生活し、学ぶ教育寮や理系の卒業生の7割以上、文系の5割が大企業に就職している状況など解説した。約20人が聴講。県支部総会と懇親会も開かれた。

(鈴木悟)